



子育てリフレッシュ講座 フラワーアレンジメント

3月1日、中頓別町立認定こども園地域交流室で子育てリフレッシュ講座が開催されました。

当日は、認定こども園で託児を行い、4人の母親が参加していました。それぞれフラワーアレンジメントを行っていました。会場からは、「なかなか丸くならない」などリラクゼーションながら、笑顔であふれていました。



練習成果を発揮 スノーフェスティバル

3月5日、中頓別町寿スキー場で、なかとんべつスノーフェスティバルが行われました。

当日は、多くの町民の方が参加し、スキー・スノーボード大回転、歩くスキー、雪上ゲーム大会などが開催されました。また、東宗谷農業協同組合中頓別支所からは、牛乳が無料で配られていました。最後は、ロッジ前で表彰式も行われました。



子ども主体で考える NHKドキュメント「ゆめパのじかん」鑑賞会

3月11日、中頓別町立認定こども園ホールで、「ゆめパのじかん」鑑賞会が行われました。

NHKドキュメント72時間を取り上げられた川崎市にある子ども達の居場所「川崎子ども夢パーク」(通称ゆめパ)での取り組みを鑑賞しました。ゆめパは、誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる子ども達のかげがえのない「じかん」を



大切にしています。家庭でもない、学校でもない、第3の子どもの居場所となっています。鑑賞後には、森のこども園での取り組みや認定こども園の園庭整備事業についてなど関係者や保護者の方とパネルディスカッションを行い、「危険を伴うこともある外での活動をどうサポートしていくべきなのか」などの意見が出ていました。





皆で楽しみながら体験 JAワークシヨップ

3月11日、中頓別町民センターでワークシヨップが行われました。

当日は、町内外から多くの方が訪れ、ファブリックフォトパネルやレジンアクセサリ、アロマサシェ、アロマリップなどを作り、楽しんでいました。ポスター作りでは、「シールを上手く貼るのが難しいです」などと話されていました。



思い出を刻み、次の道へ 中頓別中学校卒業式

3月12日、中頓別町立中頓別中学校で、卒業式が行われました。

卒業生10人は、小林校長より卒業証書を受け取りました。式典終了後、最後の学活では、担任である川田竜也先生から、卒業生ひとりひとりに仲間を大切にすることなど言葉が贈られました。保護者や生徒からは先生へプレゼントが贈られました。



旅立ちの日に 中頓別小学校卒業式

3月18日、中頓別町立中頓別小学校で卒業式が行われました。

卒業生17人は、中頓別中学校の制服を着て、宮崎校長より卒業証書を手渡されました。卒業証書を受け取った後に保護者のもとに行き、受け取った卒業証書と両親へ感謝の手紙を手渡しました。最後には、在校生のアーチをくぐり抜け、小学校の校舎を後にしました。



4月からは小学生 認定こども園卒園式

3月25日、中頓別町立認定こども園で卒園式が行われました。

卒園児12人は、大島園長より卒園証書を手渡されました。卒園証書を受け取った後には、大島園長から、保護者の皆さんへ感謝の言葉と卒園児には、絵本を通じて、小学校への通学の仕方や保健室の使い方などを学んでいました。また、記念品も贈られていました。





転入された方や結婚・出産・子育てを支援する『いきいきふるさと推進事業』をご存じですか？

中頓別町では、住民の定住化と本当の豊かさを分かち合う温かいまちづくりを推進していくことを目的として「いきいきふるさと推進事業」を実施しています。住民の方々や転入された方々に対して、温かい歓迎の気持ちを込めて必要な情報の提供などの転入支援や、結婚されたご夫婦や出産された方へのお祝い品の贈呈、乳幼児健診時には、絵本のプレゼントや読み聞かせをしています。この他にも通学用バス定期運賃補助事業などを行っております。いつでもお気軽にお問い合わせください。

移住定住促進事業

転入支援

【対象】 本町に転入された方

【内容】 中頓別町生活情報誌の配布、
なかとん牛乳引換券の配布（900ml×4本分）



就職祝い金

【対象】 中学、高校、大学等を卒業もしくは退学、又は中頓別に転入の届出をした方のいずれかであり、以下の要件を満たす方

- ① 5年以上の就業見込みがあること
- ② 卒業、退学又は転入した日から1年以内に町内の事業所に就職していること、若しくは町内の事業所に就職した者で就職してから5か月以内に転入の届出をした方
- ③ 公務員ではないこと
- ④ 就業先が転勤を伴う事業体でないこと
(広域の事業体であっても転勤の見込みがない方は対象)
- ⑤ 就職したことに対する国や道の補助金等の交付対象者ではないこと

【内容】 中頓別町商工会商品券5万円分

【手続き】 事業所より申請書を提出していただき、後日交付します。

【申請期日】 就職から6か月以内



就学支援事業

通学用バス定期運賃補助事業

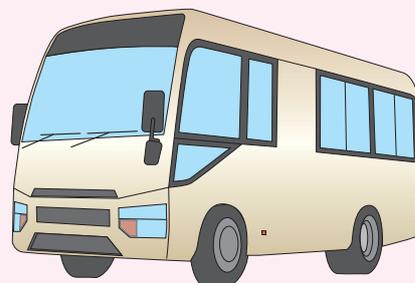
※今年度から事業内容が改正されました！

【対象】北海道浜頓別高等学校に通学する生徒を持つ保護者

【内容】通学バス定期運賃補助5割を上限

【手続き】浜頓別高等学校を通して申請を行います。

※10月からは無料スクールバス運行予定のため、9月までとなります。



高等学校等通学家庭補助事業

【対象】北海道浜頓別高等学校以外に通学する生徒を持つ保護者

【内容】中頓別町商工会商品券10万円

【手続き】在学を証明する書類（在学証明書や生徒手帳内の身分証明書）と申請書を提出してください。

【申請期日】入学又は進級した年の12月まで

【その他】補助は3年を限度に受けることができます。



結婚支援事業

結婚祝い金

【対象】婚姻届が提出された時点で夫婦ともに、または夫婦のいずれかが本町に住民票があり、引き続き居住することが明らかな方

【内容】夫婦一組30万円

【申請期日】婚姻届提出後、なるべく速やかにご申請ください。

【その他】町外で婚姻届を提出した際は、婚姻後の戸籍謄本を提出してもらう場合があります。





子育て支援事業

出生祝い金

- 【対象】 出生届が提出され、新たに町民となったお子さん
【内容】 第1子・第2子：10万円（商品券5万円含む）
第3子以降：30万円（商品券5万円含む）



紙オムツプレゼント

※今年度から事業内容が改正されました！

- 【対象】 出生届が提出され新たに町民となったお子さん、または転入されてきた1歳未満のお子さん
【内容】 紙オムツ1000枚、燃やせるごみ袋10枚入×10包
【手続き】 オムツの注文票をお渡ししますので提出していただき、後日交付します。紙オムツはまとめたの交付ではなく、1歳の誕生日になるまでに数回に分けてお渡しすることができます。
【申請期日】 出生についてのお手続き、または転入についてのお手続きが済み次第、なるべく速やかにご申請ください。
【その他】 新しく転入されてきた1歳未満のお子さんについては、月齢により交付内容が変わりますので、詳しくはお問い合わせください。



絵本プレゼント

- 【対象】 本町に居住している1歳、1歳半、3歳に達するお子さん
【内容】 絵本2冊ずつ、ボランティアさんによる絵本の読み聞かせ
【手続き】 乳幼児健診時に会場で選んでいただき、在庫があればその場でお渡しします。



申請に関しましては、いつでもお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 政策経営室 (01634-8-7671)

第8期総合計画

町民アイデア 「7つのアクション」 活動便り

まちのこれからをつくる総合計画で、7つの町民主体のチームが生まれ、教育、仕事、福祉などのテーマを背景に、活動しています。今回は、3月24日(金)に役場にて開催した「薪ストーブでピザづくり&2022年ふりかえり交流会」についてご報告します。

薪ストーブでピザづくり

役場のホールにある薪ストーブを使用し、ピザづくりに挑戦しました。ピザ生地の上に、チーズ、トマト、ピーマンなどの具材をのせて焼いたオリジナルのピザを食べながら一年の活動をふりかえりました。



一年の活動を動画や写真でふりかえり

2022年の活動を動画や写真でふりかえるとともに、「いつラボチーム」が開催した木工ワークショップに参加した子どもたちの作品や、天北厚生園と協働して試作した「しいたけスナック」のサンプル、「サバイバルの達人チーム」が作成した自然あそびの年間カレンダー、「エプロンツーリズムチーム」が作成したヤマメのマリネレシピなどが展示されました。2023年からは、各チームの活動の情報をお届けする新聞の発行を予定しています。



参加者からの各チームの活動へ応援メッセージ

■町営塾づくり

- ・ゲーム感覚から考えることがいいと思った
- ・謎解きが楽しかったので、またやってほしい！

■エプロンツーリズム

- ・料理上手な方の技を引き継げる活動はすばらしい
- ・ヤマメのマリネがとてもおいしかった

■いつラボ

- ・しいたけスナック改良に期待！
- ・スナックなら食べられる
- ・木工ワークショップで、また何か作りたい

■オンライン診療デビュー

- ・体験会があるとよさそう
- ・高齢者も利用できるといい
- ・一般的なオンライン診療を実現するには課題が多い

■なかシュラン

- ・SNS 更新の頻度が上がり、いろんな人の目につくようになるよさそう
- ・SNS をフォローしました！

■育児と仕事の両立

- ・保健師さんや助産師さんとの交流の場が増えるといい
- ・周囲の理解・寛容さを求めつつ病児保育があるといい

■サバイバルの達人

- ・ピンネっこクラブとコラボしてはどうか
- ・去年参加できなかったのが今年は釣りに参加したい

ご案内

各チームでは、メンバーを募集しています！



Instagramを始めました！ぜひチェックしてください。



ワイン づくりへの 挑戦

File.1



これまでの取り組みについて

町では、令和13年ごろからのワイン販売をめざして、本年度からワイン用ブドウの栽培事業を本格的に進めていきます。中頓別で育つブドウでどのようなワインができるのか、ぜひご注目ください。



醸造用ブドウの試験栽培は、平成29年より取り組みをスタートし、2つの試験圃場（約10a）で、池田町より導入した約80本の山ぶどう系の3品種を栽培してきました。令和2年度に初めて実を付け始め、令和3年度には約22kg（169房）、令和4年度も約21kg（204房）のブドウを収穫することができました。また、収穫したブドウの実の品質もワイン醸造が可能な糖度及び酸度があることも確認しています。

ブドウは温暖な地域で栽培されるというイメージですが、寒冷積雪地帯である本町でも、『遅霜への対策などが必要なものの、積雪が多い方が越冬に適しており、温暖な地域より病気の発生は少ない』と考えているところです。



本年度から、約2haの農地に今後4年間で約2,000本の苗を植えていき、令和10年頃からワイン醸造を始める計画で、今年の6月ごろには苗木約300本ほどを定植する予定です。ブドウの苗木の定植体験会の開催も予定しておりますので、ぜひご参加ください。

令和4年4月には、地域のみなさんや関係機関とで『中頓別町ブドウ研究準備会』を設立しました。栽培管理技術の共有や今後の利活用方法の検討などを行っており、ブドウ事業の応援団の設立に向けて活動を行っていますので、興味のある方は、役場産業課までお問い合わせください。



ワイン製造という挑戦はまだまだ始まったばかりで、今後も様々な困難が待ち受けていると思われませんが、長期的な視野に立って栽培を進めていきたいと考えています。

今後もブドウの生育状況などについて広報誌を活用してお知らせさせていただきますので、どうぞよろしくお祈りします。

お問い合わせ 産業課 産業グループ
(01634-8-7662)